

■千歳・恵庭エリアの生活情報紙「Chanto」  
 2018.9.21  
 毎週金曜日発行 69,700部  
 発行/株式会社メディアコム  
<http://chanto.biz>  
 第629号  
 無料  
 ■広告の掲載・チラシ折込のお問い合わせ先/☎0123-27-0911

# ちやんと かわら版 千歳

視覚に障がいを持つ人たちを中心となり音楽活動を続けるブルーファミリーア(目黒達也代表)が来たる10月7日(日)、北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)中ホールで「さわやかチャリティーコンサート」を開催します。コンサートに向けての練習がさきごろ行われ、オリジナル曲も交えた入念なりハーサルを行いました(写真)。

今年のコンサートは「心の中のこる平成の歌ア・ラ・カル・ト」がテーマ。目黒代表は「平成最後のコンサート」として、心に残る平成の歌からピックアップしてお送りします」と話し、ゆずの「栄光の架橋」、ZARDの「負けないで」、GLAY「誘惑」の他、オリジナル曲を披露する予定です。

バンドは、ボーカル5人、演奏11人の計16人で構成。メンバーは千歳、札幌のほか、東京、長野、三重、岐阜、佐賀と日本各地に分かれており、こ

の日の練習には10人が参加しました。

10月7日(日)のコンサートは13時開演で、第1部が劇団睦による創作劇、第2部がブルーファミリーアによる公演で、入場料は2千円。収益金は、千歳市立図書館にブルーファミリーア文庫として寄贈されます。また、会場ではオリジナル曲を収録したCDを販売(税込千円)。目黒代表は「CDの収益は、北海道胆振東部地震で震度7を観測した厚真町の被災者に寄付します。心で奏でる希望の音律を通して皆さんに勇気と元気をお届けできれば」と広く来場を呼びかけています。

(編集部 葉多埜)



## 心で奏でる希望の音律 ブルーファミリーア 2018